

投稿欄／論文投稿規定

(2004.9 改訂)

本誌では、日常の臨床で役に立つ内容の総説、原著、症例報告などの論文の投稿を受け付けております。なお、すでに他誌に掲載されたものや二重投稿はご遠慮ください。

1. 掲載項目・文字数

『Letters to the Editor』

本誌に掲載された論文に対する質問や意見、医療制度などに対する意見、データ速報などお寄せください。必要に応じて質問や意見への回答なども掲載いたします。

文字数：1,200字以内

『臨床経験』

日常診療に役立つ症例をお寄せください。「症例」「考察」などの見出しで本文をお書きください。

文字数：6,000字以内（文字数に図表・文献を含みます。図表1点あたり400字換算）

『TOPICS』

医療の最新情報や話題、研究成果をお寄せください。

文字数：6,000字以内（文字数に図表・文献を含みます。図表1点あたり400字換算）

2. 記述の要項

【原稿】次の順に記述願います。

- ・和文表題、和文著者名、和文著者所属名、海外の大学・病院・研究所等にご所属の方は英文の著者所属名。

【本文】

- ・記述は平易明瞭な口語体、新仮名使いとし、文中の人名、地名などは原語で表記願います。ただし、日本語化しているものはカタカナで結構です（他の原稿と統一させていただく場合があります）。
- ・薬品名は、日本語（カタカナ書きのものはカタカナで）にて、初出時に**一般名（主要な商品名）**の形にて明記願います。初出時以降は代表的な商品名をお上げください。
- ・略語は初出時にフルスペルを明記願います。
- ・イタリック体指定の単語には下線を引いてください。

【文献】

- ・文献の記載順は本文中の引用順に従い、本文中の引用箇所でも肩付番号の明示が可能な部分には肩付番号をお付けください。
- ・文献の記載数は**5項目程度におまとめください**。
- ・文献の表記法は下記に統一いたします。
雑誌の場合…著者名：論文題名、雑誌名、巻（号）：頁－頁、発行年。
単行本の場合…著者名：論文題名、書名、版数、編者名、発行所、発行地、頁－頁、発行年。
（論文題名はフルスペルでご記述ください。また著者名は筆頭者を含め3名までとし、4名以上の場合は筆頭著者名のみ記して「他」もしくは「et al.」としてください）

【図表】

- ・図表は可能な限り著者の原図をご使用ください、やむを得ず他から引用・転載される際には**出典を明記願います**。
- ・転載に際しては、**原著者に許諾の申請をお取りいただくことがあります**。
- ・図表には通し番号をまた本文中には挿入箇所を明記願います。

- ・図表の説明また図、表内の文字は可能な限り日本語にて表記願います。
- ・図（写真含む）のデータはpowerpoint、photoshop、またはjpeg、eps、pict、tiffのどれかの形式に保存された画像データをご入稿ください。また、カラー掲載をご希望の際はその旨を明記願います。なお、カラーとして掲載させていただくかは、本誌編集委員の先生と編集部にて検討させていただきます。

3. ご入稿について

【形態】

- ・B5判もしくはA4判のサイズの用紙に、20×20=400字で印字されたもの1部とフロッピーディスク（使用された機種、ソフト、ファイル名をご明記の上）を添付願います。
- ・フロッピーディスクには、使用ソフトのオリジナル形式とテキスト形式をお入れください。
- ・e-mailによる入稿も受け付けております。ただし弊社の使用機種・ソフトにて判読できない場合には、プリントアウトされたものをファクスもしくはご郵送にてお送りいただくこともあります。

【ご送付先】

〒113-0034 東京都文京区湯島4-1-11
株式会社 南山堂 「治療」編集部
Tel: 03-5689-7872/Fax: 03-5689-7851
e-mail: chiryo1920@nanzando.com

4. 著者校正について

原則として初校1回とさせていただきます。

校正時の大幅な追加・削除・訂正はご遠慮ください。

進行状況によっては、ファクスによる送・返信とさせていただきます場合もあります。

5. 掲載採否について

ご寄稿いただいた原稿をもとに本誌編集委員の先生方と編集部にて検討させていただきます。ご確認・ご修正をお願いすることがあります。

6. 掲載誌の献本、別刷について

- ・原稿を掲載した雑誌は出来次第、1冊献本いたします。
- ・別刷は20部までは無料で作成・謹呈いたします。
- ・別刷部数（有料分）のご希望は初校時にお伺いします。
- ・別刷は雑誌の進行が終了してから作成に入りますので、通常、雑誌発行日より1ヵ月後の納品となります。
- ・原稿料はお支払いいたしません。

7. 著作物の利用について

- ・著作物の複製、翻案、翻訳、転載、電子出版、データベースへの取り込みおよび公衆配信等、雑誌掲載以外の形態による利用、ならびに第三者に対するこれらの利用の許諾に関する権利は、弊社に保有させていただきます。